

目の健康維持に関連した交通事故防止サービスの開始

東京海上ディーアール株式会社（代表取締役社長 嶋倉 泰造、以下「TdR」）は、運転者の健康起因による交通事故防止のため、目の健康維持に関連した新たなソリューションとして、セルフチェックツールを活用した新サービスの提供を開始いたします。

1. 背景・目的

警察庁の統計によれば、2019年の交通事故死者数は全国で3,215人となり、2016年に4,000人を下回って以降も順調に減少傾向が続いています。一方で、高齢運転者による重大事故が相次いで発生したのを機に、加齢や疾患等による身体機能低下に起因する自動車事故（以下、健康起因事故という）がメディアでも大きく取り上げられるなど、新たな社会課題として認知されています。

一般に、健康起因事故と聞いて思い浮かぶのは、過労や生活習慣病等を背景として発生する運転中の意識低下や眠気に起因する事故ですが、自動車運転は多様な身体機能を統合的に働かせる複雑な処理であり、その中でも情報の入り口となる視機能に依存するところが大きく、その視機能は加齢や疾患等の影響で大きく低下する場合があります。警察庁は2017年「高齢運転者事故防止対策に関する提言」の中で、取り組むべき今後の方策として、認知症と並んで視野障害による運転リスクについて言及しています。また、国土交通省は2021年度において、視野障害と事故との関係性を分析するため、事故を起こした事業用自動車の運転者に対して視野検査のモデル事業を実施することを決定しました。

こうした現状を踏まえ、TdRでは、健康起因事故を防止するために、運転者の目の健康に着目したソリューションを開発して、提供することといたしました。

2. サービスの概要

TdRは、当面の取組みとして、参天製薬株式会社の開発したセルフチェックツールであるサンテン・オプティナビ®と、TdRが長年培ってきた安全指導・教育のノウハウを融合することにより、健康起因事故の防止をサポートする新たなサービスの提供を目指します。第1弾として、サンテン・オプティナビ®と安全運転管理者及び運行管理者向け講習会のパッケージサービスを開始いたします。

■サービスの流れ

- ①主に業務で運転をされる従業員を中心に、サンテン・オプティナビ®のセルフチェックの実施
- ②セルフチェックの結果をまとめ、従業員の傾向についてのデータ分析、レポートのご提供
- ③安全運転管理者及び運行管理者向けに、目の健康と安全運転に関する講習会の実施



3. サービスのイメージ

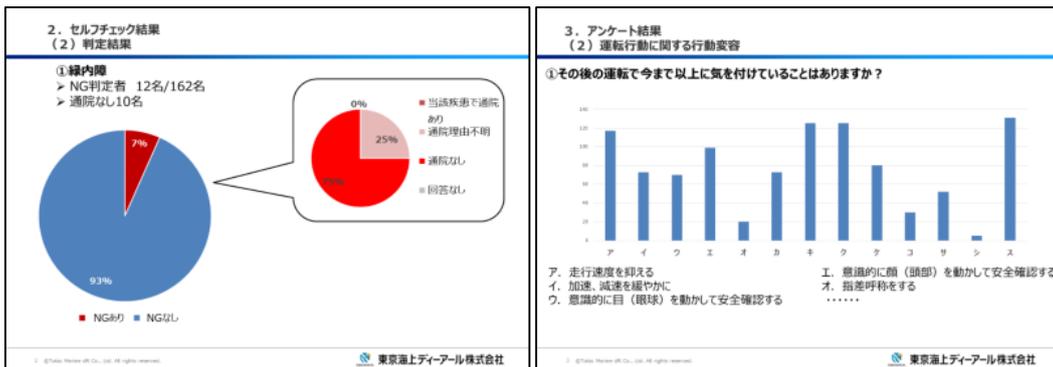
■サンテン・オプティナビ®のイメージ

「サンテン・オプティナビ®」はドライアイ、緑内障、加齢黄斑変性、白内障に関するセルフチェックができる Web サイトです。目の病気の見え方体験と簡単なセルフチェックを通じて気づきを得ることで、目の健康に対する意識・行動変容を促します。



■レポートのイメージ

緑内障等のセルフチェックの結果や、各従業員のセルフチェック後に実施するアンケート調査等のデータを分析し、運転行動の変化等をまとめてレポートします。



■「目の健康と安全運転」講習会イメージ

目の健康の重要性や目の疾患が自動車運転に与える影響、セルフチェックを踏まえた従業員への啓発や管理者として対応すべき事項について解説します。

d. 事故予防のための運転習慣

2. 正しい運転姿勢

正しい運転姿勢をつくる (両肩、腰、膝、肘)

- 背もたれと背中には隙間なく座ってください。(やむを得ず急ブレーキで危険を回避する際に、背中と足を使ってフルブレーキを踏むため)
- ヘッドレストが目の高さにくるよう調整してください。
- ハンドルを握り、両腕を交差させた際、肘が伸びきらない距離を維持してください。
- ブレーキペダルを踏んだ際、膝が伸びきらない距離を維持してください。

d. 事故予防のための運転習慣

5. 視線（眼球）と顔（頭）を意識的に動かす『きよろきよろ確認』

■自分の見え方（視野の状態）に合わせて、なるべく広い視野を確保する工夫

視線（眼球）と顔（頭）を安全確認の対象へ意識的に向ける習慣づけ

『きよろきよろ』しましょう

TdR では、今後も健康起因事故の防止に貢献するサービスの開発・提供を通じて、運送事業者およびその他多くの企業の皆様に対して、従業員の健康増進ならびにより安全な自動車運転を実現して頂けるよう、新たな価値提供を実現してまいります。

以 上

本ニュースリリースについてのお問い合わせ先 東京海上ディーアール株式会社
運輸・モビリティ本部 TEL : 03-5288-6586 (担当: 花島・本多・高橋)